

平成 24 年 6 月 28 日

**NHK 番組「追跡！真相ファイル：低線量被ばく揺れる国際基準」**

**(平成 23 年 12 月 28 日)の審議願い**

私達 2 団体は平成 23 年 12 月 28 日放映 NHK 番組「追跡！真相ファイル：低線量被ばく 揺れる国際基準」を放送倫理基本綱領違反として、貴委員会にて審議していただくようお願いいたします。

**問題の番組について**

東北地方、とりわけ福島県下の住民の方々の間には、一部のメディアによる偏った内容や事実誤認の報道により、低線量放射線被ばくの健康影響への不安が広がっていることを憂慮しています。中でも、公共放送機関である NHK は、平成 23 年 12 月 28 日放映番組「追跡！真相ファイル：低線量被ばく 揺れる国際基準」で、以下のメッセージを視聴者に伝えました。

1. 世界各地で、極めて低線量の被ばくでも健康障害を受けた人々がいる。
2. ICRP は、低線量被ばくに関するリスクについて適正な見直しを行わず、防護基準を甘くしている。また、ICRP という組織自体が原発を進めたい側が作った組織である。

**NHK への問題指摘と意見交換**

私達 2 団体有志はこの番組を詳細に検討し、事実誤認と放送倫理基本綱領に反する内容で構成され、上記の間違ったメッセージを視聴者に伝えたものとして、

- ・平成 24 年 1 月 12 日 NHK 会長宛てに問題指摘文書を会員 112 名の賛同者氏名を付して送付。
- ・2 月 8 日、3 月 5 日、4 月 25 日の 3 回 NHK との間で意見交換を行いました。

しかしいずれも「報道内容は調査やインタビュー結果を並べただけで問題はない、特定の制作意図もない」という回答に終始したため公開文書による回答を要求しましたが、「公開前提の回答は出来ない、意見は他の意見とともに今後に反映する」との回答でした。

**当該番組の影響**

この番組により低線量放射線被ばくの健康被害について根拠のない不安を拡げ、また放射線被ばく防護に関する避難、除染、食品安全等の政府基準の根拠である ICRP の信頼を失わせ、福島復興に大きな影響を及ぼしています。

更に上記報道から半年近く経過した 5 月には、俳優山本太郎氏が瓦礫受け入れ拒否運動の根拠にする等、この NHK 番組が及ぼしている影響は拡大しています。(参考資料-3 参照)

以上を鑑み、本件は福島復興の為に看過できないと判断し、事実誤認の詳細を添付に記しますので、貴委員会における審議をお願いします。なお、この要望書は以下の 137 名の会員の賛同を得てご提出するものであることをご留意ください。

日本原子力学会シニアネットワーク連絡会  
エネルギー問題に発言する会

<賛同者氏名、50音順>

青木 直司、秋元勇巳、秋山 元男、荒井 利治、石井 亨、石井 正則、石井 陽一郎、石川 迪夫、  
一木 忠治、出澤 正人、伊藤 睦、伊藤 裕基、犬飼 英吉、岩瀬 敏彦、岩本 多實、上路 正雄、上田 隆、  
梅本 忠宏、浦上 学、太田和明、大野 崇、大塚 徳勝、小笠原英雄、岡本雅道、小川 修夫、小川 博  
巳、奥出 克洋、織田 満之、小田島 嘉一郎、小野 章昌、勝又徳明、加藤 仁、加藤 洋明、加納 時男、  
金氏 顯、金子 熊夫、亀ヶ谷 勝之助、川岸 礼佳、河田 東海夫、川西 康平、岸田哲二、北田 幹夫、  
岸本 洋一郎、工藤 和彦、黒木義康、黒田 眞、栗原 裕、黒川 明夫、軍司 貞、小杉 久夫、  
後藤 征一郎、後藤 廣、小山 謹二、紺谷 健一郎、西郷 正雄、税所 昭南、齋藤 修、齋藤 健彌、齋  
藤 伸三、齋藤 隆、崎山茂子、櫻井 三紀夫、佐藤 忠道、実松 俊弘、嶋田 昭一郎、清水 彰直、  
白山 新平、末木 隆夫、末廣 和康、菅原 剛彦、鈴木光雄、清野 浩、副島 忠邦、高島 洋一、高田 誠、  
高野 元太、高橋 輝実、高間 信吉、宅間 正夫、太組 健児、竹内 哲夫、田中 長年、田中 隆一、  
玉尾 重雄、力石 浩、長 惇夫、辻 萬亀雄、坪谷 隆夫、寺澤 倫孝、中尾 昇、長尾 博之、  
中神 靖雄、中村 進、永崎 隆雄、中村 威、中村 尚司、夏目 暢夫、奈良林 直、西村 章、  
野島 陸郎、林 勉、早野 睦彦、針山日出夫、樋口勝彦、平沼 博志、藤井 晴雄、藤井 靖彦、藤原 豪、  
古田 富彦、堀 雅夫、前川 則夫、前田 肇、牧野 功、榊田 藤夫、益田 恭尚、松井一秋、松浦 辰男、  
松岡 強、松岡 信明、松下正吾、松永 一郎、松永 健一、松村 一雄、水野 雄弘、三谷 信次、  
宮田 勝仁、向山 武彦、柳原 敏、山崎 吉秀、山田 明彦、山田健三、山田 信行、山本康典、  
吉島 重和、路次 安憲、若杉 和彦 (合計 137 名)

<代表者と連絡先>

石井正則(日本原子力学会シニアネットワーク代表幹事)、[m\\_ishii@flamenco.plala.or.jp](mailto:m_ishii@flamenco.plala.or.jp)  
金氏 顯(エネルギー問題に発言する会代表幹事)、[kaneuji@amber.plala.or.jp](mailto:kaneuji@amber.plala.or.jp)

(添付)

NHK 番組「追跡！真相ファイル: 低線量被ばく揺れる国際基準」(平成 23 年 12 月 28 日)の事実誤認の詳細

(参考資料)

1. NHK番組ナレーション、書き下ろし
2. 被ばくによるがん死亡リスク 「NHK報道とICRP勧告の比較」
3. 瓦礫受け入れ反対チラシ

(註)このチラシの2枚目と3枚目に、瓦礫受け入れ反対理由として、「12月28日NHK報道番組『低線量被ばく 揺らぐ国際基準』では、「低線量被ばくによる健康被害はほとんどないとする国際基準ICRPには、何の科学的根拠もない」ことが報道されました」と明記。